

ペプチドは20個以下のアミノ酸が鎖状に結合した分子です。ペプチドはタンパク質と比べてそのアミノ酸の結合の長さが短いことを特徴としています。天然の細胞および組織の再生にはペプチド鎖が関与しています。ペプチド鎖は生物学的効果を誘発または阻害することができます。ペプチド鎖は生理学的システムにおいてアゴニスト（作動剤）またはアンタゴニスト（阻害剤）として作用します。治療においてペプチドを使用すると、ペプチドは生理機能の活性に特化した活動を行います。ペプチドはヒトの生理機能において認識されている物質であるため、低用量で効果的であり、毒性が無く、副作用は最小限です。ペプチドバイオレギュレーターとの投与により、早期の老化に対する効果的な予防および加齢性疾患への治療が可能になります。



リジェナペップ

健康な関節の維持と関節の炎症抑制に

- 炎症の抑制
- 痛みの軽減
- 軟骨の保護
- 軟骨の再生
- うつ病の軽減

リジェナペップは関節の健康を目的に開発されたTGA認定の新しい健康サプリメントです。

筋骨格の痛みやリウマチおよび関節炎による痛みに対する先進的な緩和剤であり、筋骨格系における初期の関節炎症に関連する症状を緩和することにより関節炎の発症を潜在的に防ぐ予防システムとしてはたります。

リジェナペップには独自の有効成分である初乳（インターロイキン-1受容体アンタゴニストペプチドが豊富）と多くの精製植物抽出エキス（ウコン、セイヨウシロヤナギ、デビルズクロー、ボスウェリア・セラータ、ショウガなど）が調合されています。

リジェナペップに含まれる生物活性成分が相乗的に相互作用することにより炎症の抑制と痛みの緩和を促進します。

適応症：

症状	慢性炎症との病理学的関係
アルツハイマー病	炎症性サイトカインが自己免疫反応を誘発する
関節炎	炎症性サイトカインが関節軟骨と滑液を破壊する
変形性関節症	サイトカインが軟骨細胞の生成と再生を阻害し軟骨の侵食を引き起こす
線維筋痛症	炎症性サイトカインが筋肉組織を破壊し慢性的な痛みを引き起こす
ループス	炎症性サイトカインが自己免疫による攻撃を誘発する
線維症リウマチ	炎症性サイトカインが傷ついた組織を攻撃することにより正常な組織を硬い線維性結合組織に置き換える
軟組織	慢性炎症が炎症性因子の過剰産生を引き起こす
障害	軟部組織における外傷により炎症性サイトカインの産生が増加する
スポーツ傷害	繰り返しの損傷が炎症性サイトカインの過剰な生産につながる
乾癬	炎症性サイトカインにより皮膚炎の発症につながる
慢性疼痛症候群	慢性疼痛症候群が炎症性サイトカインの過剰産生を引き起こすことにより従来の鎮痛薬および抗炎症薬の無効につながる

推奨される使用者

リジェナペップは初期から中期の関節炎患者および、筋骨格と関節の健康を維持しようとする成人に推奨されます。

